

全身骨密度測定装置
機器

1	機器の性能、機能
1-1	X線Cアームについては、以下の要件を満たしていること。
1-1-1	X線発生方式は、二重X線発生方式のスイッチングパルス方式である こと。
1-1-2	使用管電圧は 100kVp及び140kVpの 2種類であること。
1-1-3	測定方式は、D X A法であること。
1-1-4	ビーム方式は、扇状ファンビーム方式であること。
1-1-5	部位は、A P腰椎、大腿骨、 ラテラル腰椎、全身、 前腕骨がスキャンができること。
1-1-6	A P腰椎（L2～L4） のスキャン速度は 10秒以内の機能を有すること。
1-1-7	大腿骨のスキャン速度は 10秒以内の機能を有すること。
1-1-8	前腕骨のスキャン速度は 30秒以内の機能を有すること。
1-1-9	ラテラル腰椎のスキャン速度は 120秒以内の機能を有すること。
1-1-10	全身のスキャン速度は 180秒以内の機能を有すること。
1-1-11	Cアームは、患者の測定部位に合わせ左右両方向に可動し、側面腰椎 測定の際にはCアームが83度回転すること。また、テーブルは最大 全身測定時のみ左右に 50cm以上稼働すること。
1-1-12	患者の負担軽減のため、 仰臥位のまま側面腰椎のスキャンができる こと。
1-1-13	スキャンの範囲は、 1950mm×650mmであること。
1-1-14	測定開始毎のキャリブレーションの必要がなく、 自動内部キャリブ レーション システムを実装している こと。
1-2	X線検出器性能については、以下の要件を満たしていること。
1-2-1	検出方式はマルチディテクター方式であること。
1-2-2	検出器数は セラミック 検出器216個で、その全てが、 High/140kVp Low/100k Vpを検出できる機能を有すること。
1-3	電動式患者テーブルについては、以下の要件を満たしていること。
1-3-1	患者の体位及び撮影部位に合わせ、 テーブルが 前後方向に稼働 する こと。
1-3-2	患者の側でテーブル及び要件（1）に示すCアームを制御できるよう に、コントロールパネルを有すること。
1-3-3	患者用固定として、 腰椎測 定用足乗せ台及び大腿骨測定用固定具を有 すること。
1-3-4	患者の位置決めのため、 クロスレーザポインターを実装している こと。また、クロスレーザポインターの長さは縦横 30cm以上である こと。
1-3-5	患者テーブル と検出器部のクリアランスは 59cm以上であること。
1-3-6	全身測定 の際はテーブルが左右に 50cm以上稼働すること。
1-4	画像処理装置については、以下の要件を満たしていること。
1-4-1	C P Uの演算機能は、 Pentium G3220と同等以上であること。
1-4-2	ハードディスク装置は物理的記憶容量が 500 G B以上のものを実装 していること。
1-4-3	測定結果保存のため、 DVD/CDドライブ装置を実装していること。
1-5	測定・分析用ソフトについては、以下の要件を満たしていること。
1-5-1	以下の測定・分析用のソフトウェアを有すること。 ・腰椎正面測定／側弯症測定 ・ラテラル測定（仰臥位） ・腰椎正面／体 積密度測定表示機能 ・面積密度 ・大腿骨測定 ・全身測定（全身体組成 含む） ・前腕骨測定 ・比較解析 ・ 7 関心領域設定 ・金属除去 ・小児解析、IVA（Instant Vertebral assessment） ・脊椎骨折分析 ・TBS(Trabecular bone score 腰椎海綿骨構造評価) ・HSA(Hip structure assessment 大腿部構造評価） ・AFF（非定型骨折評価機能）
1-5-2	以下の管理データソフトウェアを有すること。 ・ノーマルデータ表示（T－スコア、Z－スコア、変化率表示） ・Q C ソフトウェア
1-5-3	生データをメモリしており、再解析が可能であ ること。
1-5-4	解析時にヒストグラム機能を有すること。

1-6	モニタについては、以下の要件を満たしていること。
1-6-1	21インチ ワイド以上の同時表示数 32万色カラー 液晶モニターであること。
1-6-2	解像度は 1366×768ドット以上であること。
1-7	プリンタについては、以下の要件を満たしていること。
1-7-1	印刷方式はインクジェットであること。
1-7-2	印刷用紙サイズは、 A4サイズであること。
1-7-3	プリンタのインクは当院の物流システムで採用されているものを使用できること
1-7-4	バックアップとして指定するネットワークプリンタへ接続し印刷できること。
2	データ移行
2-1	データ移行については、以下の要件を満たしていること。
2-1-1	既設置の 患者データ （氏名・ ID・生年月日・性別） だけでなく、 数値データを全部位、係数変換することなく 移行し、更新後も継続 して追跡可能 であること。
3	その他
3-1	ネットワークについては、以下の要件を満たしていること。
3-1-1	DICOM 規格 3.0及び MWMおよびに対応していること。
3-1-2	RIS、PACSなどの当院が指定する他装置とのDICOM接続を行うこと。
3-1-3	当院RISと接続し、撮影オーダーの連携が可能であること。
3-1-4	DICOM3.0およびDICOM RTに準拠したネットワーク接続が可能であり、当院のPACS等と接続すること。接続の詳細については当院担当者および関連会社と充分協議をしたうえで接続を行うこと。
3-1-5	RDSRに対応し被ばく管理システムへ接続し送信すること。
3-1-6	接続に関するもの全て当院担当者と協議の上、接続を行うこと。
4	付属機器
4-1	付属機器は以下の物を備えていること。
4-1-1	精度チェック用として、人工腰椎ファントムを備えている こと。
5	設置について
5-1	部屋改修工事・装置設置、教育、保守について、以下の要件を満たしていること。
5-1-1	基本、部屋の改修は必要としないが、設置に必要な改修工事は担当者と綿密な打ち合わせを行い作業すること。
5-1-2	機器の搬入、据付、配線、調整工程を担当者と打ち合わせを行い作業すること。
5-1-3	既存機器の撤去及び搬出が発生する場合は本調達費用に含むものとする。内容については担当者と打ち合わせを行い作業すること。
5-1-4	取り扱い説明に関する教育訓練は、当院が指定する日時・場所で行うこと。
5-1-5	納入翌年度末までの期間、通常の使用により故障した場合の無償保証に応じること。
5-1-6	納入翌年度末までの期間、障害発生時の対応を無償保証に応じること。
5-1-7	上記以外に関して問題が生じた場合に、当院側と協議し決定をすること。
5-1-8	年度途中で保証が終了する場合は年度終了まで保守契約を別途結ぶこと。
5-1-9	機器導入後の設定変更等、担当者と協議し速やかに対応すること。
5-1-10	検査に必要な機器の調整に関する技術支援を行うこと。
6	その他
6-1	その他について、以下の要件を満たすこと。
6-1-1	入札装置は、入札時点で製品化されていること。
6-1-2	入札装置のうち医療用具に関しては、入札時点で薬機法に定められている製造の承認を得ている部品であること。
6-1-3	その他、当仕様書に記載のない事項については、適宜当院職員との協議に応ずること。